

2010年1月1日

NHK交響楽団 正指揮者 尾高 忠明氏の就任について

NHK交響楽団(所在地:東京/理事長:野島直樹)は、日本を代表する指揮者の一人である尾高忠明氏を、2010年1月から正指揮者に迎えることになりました。

尾高忠明氏は、これまで東京フィルハーモニー交響楽団常任指揮者、読売日本交響楽団常任指揮者、紀尾井シンフォニエッタ東京ミュージカル・アドバイザー/首席指揮者を歴任。現在札幌交響楽団音楽監督を務め、2010年9月からは新国立劇場のオペラ部門芸術監督に就任が決まるなど、国内では文字どおり確固たる地位を築き、高い評価を得ています。

また、BBCウェールズ交響楽団首席指揮者を務め、ウェールズ大学名誉博士号、大英勲章CBE、日本人初のエルガー・メダルを授与されるなど、イギリスでの顕著な活動でも知られています。

尾高氏は、1968年4月にNHK交響楽団指揮研究員として入団して研鑽を重ね、初めてN響の定期公演に登場したのは、1974年のこと。以来たびたびそのステージに立ち、エルガーやドヴォルザーク、ブルックナー、ブラームスから三善晃や吉松隆など日本人作曲家の作品にいたるまで、様々なレパートリーを披露しています。

今回の尾高氏の就任で、正指揮者は外山雄三氏と2名となり、N響の演奏活動が一層幅広いものになることが期待されます。



Photo by Masahide Sato

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

1947年鎌倉生まれ。1971年にNHK交響楽団を指揮してデビュー。1974年より東京フィルハーモニー交響楽団の常任指揮者、1981年～1986年札幌交響楽団正指揮者、1992年～1998年読売日本交響楽団常任指揮者を務めた。1984、1989年東京フィル、1993、1997年には読売日響のヨーロッパ公演を成功に導いた。1987年にBBCウェールズ交響楽団首席指揮者に就任。1995年～2003年紀尾井シンフォニエッタ東京のミュージカル・アドバイザー/首席指揮者を務める。2000年には同団初のヨーロッパ・ツアーを、札幌とは2001年英国ツアー2005年韓国公演を行い、いずれも絶賛を博した。

その他、国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ロンドン・フィル、バーミンガム市響、バンベルク響、シドニー響、オスロ・フィル等世界各地のオーケストラへ客演。

オペラ分野でも二期会、関西二期会による《こうもり》《トスカ》《タンホイザー》《カルメン》《魔弾の射手》、英国のウェールズ・ナショナル・オペラ《サロメ》など数多くの公演を指揮している。1991年度第23回サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号を、ウェールズ大学より名誉博士号を、1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。さらに1999年には英国エルガー協会より、日本人初のエルガー・メダルを授与されている。

N響へは、1971年の共演以来ほぼ毎年登場。近年では定期公演でエルガー、ブラームスと共にパヌフニク、ルトスワフスキなどにも意欲的に取り組んでいる。

現在、札幌交響楽団音楽監督(2004年5月～)、BBCウェールズ交響楽団(現BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団)桂冠指揮者(1996年1月～)、東京フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者(1991年4月～)、読売日本交響楽団名誉客演指揮者(1998年4月～)、紀尾井シンフォニエッタ東京桂冠名誉指揮者(2003年9月～)を務めるほか、東京藝術大学指揮科教授、相愛大学音楽学部客員教授の任にある。

2008年9月からは新国立劇場オペラ部門芸術参与を、2009年9月からは同芸術監督代行を務めている。2010年1月、メルボルン交響楽団首席客演指揮者に就任。

2010年1月1日より、NHK交響楽団正指揮者。